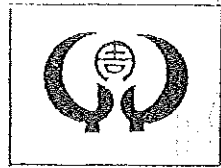


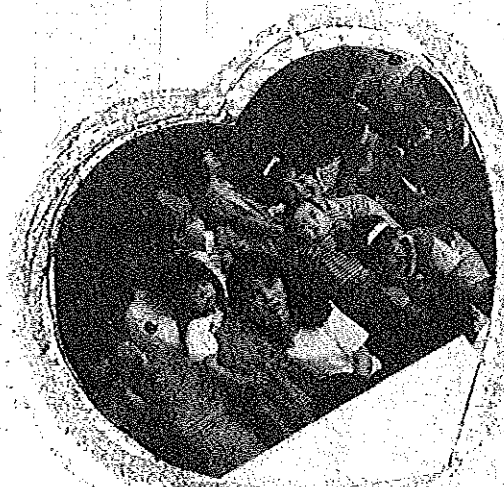
記事と情報は下記へ
周陽公民館
☎28-6515



ふれあい

7月の資源回収日は19日(第3日曜日)です。

輪が回



6月23日 公民館講堂にて

7月の『土曜日おもしろ文庫』は、11日(土)です。

◆国民の権利◆

周陽白ばら会

来る七月十二日は、参議院の選挙です。選挙の投票は、国民としての権利です。せっかく与えられた権利を無駄にしないで大切に行使しましょう。周陽地区の選挙の投票率は、徳山市の中でいつも最下位です。投票時間も午後八時までと二時間延長になりました。周陽地区の汚名挽回のためにも、是非、投票に行きましょう。



第十八回

周陽夏まつり

八月一日(土) 盆踊り、ビアガーデン、夜店、みんなで熱い夏を楽しもう！詳しくはチラシで。

七月の主な行事

- (公) 一日 あいさつ運動
- (中) 四日 クリーン作戦
- (公) 八日 夏まつり実行委員会
- (公) 十一日 おもしろ文庫
- (公) 十三日 健康相談
- (幼) 十五日 保護者会
- (中) 十五、十七日 三者懇談
- (公) 十六日 食事交歓会
- (幼・小・中) 十八日 終業式
- (中) 十九日 保護者奉仕活動
- (公) 十九日 資源回収
- (幼・小・中) 二十一日 夏期休業
- (公) 八月一日 周陽夏まつり



- (幼) 幼稚園
- (小) 小学校
- (中) 中学校
- (公) 公民館

公民館

俳句教室

六月十日

青梅・実務

赤松 意子 選

銚子の巫子の供心の青き梅

はる江

梅青し少女の頬の涙あと

智

青梅や霧笛鳴らして同防衛

高美子

這蓮の花茎やかに水に浮き

雅哉

青梅を拾いて仰ぐ朱塗り殿

茂子

忍冬古垣に咲き岡城址

礼以三



あとがき

梅雨はやっぱり雨、雨。梅雨の合間の太陽のなんと嬉しいことでしょう。紫陽花も、降って良し、晴れて良し、色の変化も楽しみです。

モ メ ヌ 理 料

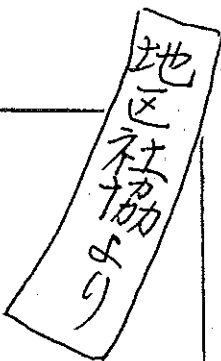
シソのゼリー

〔作り方〕

- ①赤シソの葉150gは粗く刻み、軽く塩をまぶして30分ほど置く。絞って黒いアクを捨て、水で塩気をさっと流して絞る。ボールに米酢大さじ2、砂糖大さじ2、水2カップを入れ、シソを加える。一晩置くと発色する。
- ②こしたシソ液に、水でぬらしてほぐした寒天2本を加え、煮溶かす。水でぬらした型に流し入れて固める。



周陽地区社会福祉協議会よりお知らせ
平成9年度周陽地区社協収支決算書



収入の部	
前年度繰越金	493,949円
善意銀行配分金	371,726円
共同募金地域福祉費	278,000円
地域活動福祉費	307,400円
利息	1,140円
雑費	881円
計	1,453,096円

支出の部			
三世代交流福祉活動費	350,000円	夏祭り 運動会	とんど 焼助成
児童福祉活動費	85,300円	児童クラブ 活動助成	
高齢者福祉活動費	230,780円	食事交歓会等	
地域福祉活動費	141,927円	各種団体福祉活動に助成	
広報研修活動費	135,000円	共同募金から 介護教室	
交通費旅費	55,246円	市社協 研修費 交通費	
計	998,253円		

1,453,096円 - 998,253円 = 454,843円

(次年度へ繰り越し)

◎ この決算書につきまして監査を行い、適正に処理されていることを報告いたします。

早 船 智
中 村 恒 亮

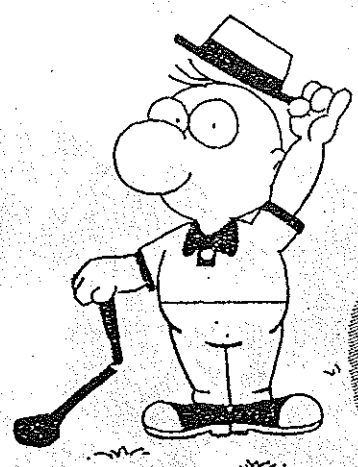
- ◇日時 七月二十二日(水) 九時三〇分〜十二時三〇分
- ◇人数 二十五名
- ◇参加費 三五〇円
- ◇献立 ・ 冷し中華 ・ 中華風冷奴 ・ 杏仁豆腐
- ◇場所 周陽公民館 実習室
- ◇申込先 " 〇二八八六五一五
- ◇持ってくるもの エプロン、三角巾、ふきん

栄養士も料理教室

徳山市食生活改善推進協議会

◇一日三食、規則的、バランスのとれたよい食事をしましょう。
◇食べ過ぎや偏食なしの習慣をつけましょう。

募集



※皆さんの参加をお待ちしております。

日 時 毎週土曜日十七時
場 所 コミュニティ広場

田中 恒亮

花の輪

十数年ぐらい前より、花を生活の一部として付き合っています。インパチェンスは、花が終わると種をとり翌春に種を蒔き、芽が出ると友達に苗をあげ、クジヤクサボテン、パイナップルセージ、シンビジウム等、株分けの時にあちらこちらにお嫁入りさせて、後に花が咲いた時の写真を見せてもらうと嬉しいものです。逆にお嫁にももらった花、大切に育てております。鉄線は、四年目の今年は青色の大輪を三十数個も咲かせ感激したものです。月下美人は、通院中の患者さんより三年前に、十センチぐらいのを二本頂いたのが、昨年花を五輪つけ、主人と二人だけではもったいない気がして、友達に声をかけ、香りと高貴な姿を堪能しました。

一番永く生活を共にしているのが、鉢植えの銀杏の木です。今年二十四才の息子が小学三年生の時に、担任の先生に貰ったと言って、大事に銀杏十個を持って帰りましたので鉢に植えたところ発芽し、今では十本が毎年秋には落葉し、春には新芽を出してくれます。この鉢は子どもと共に育った大切な木です。今年新社会人として一步を踏み出した子どもの健康を心から願いながら、朝夕水をやっております。いつの日か田舎に家を建てたら庭に植え替えて、我が家の思い出の木にしたいと思っております。

(五十代 主婦)



ある日心配な事があって、子どもを眼科へ連れて行った。検査の時「お母さんこの子は近視と言われた事はないですか?」「ん・ん・ん・ん・ん」寝耳に水とはこの事。そ、そんな。見えないと言った事はない。むしろ、遠くはコンタクトの私なんかよりずっとよく見えていたはず。結局一週間、テレビダメ、ゲームダメ本もダメ、就寝前の点眼後、再度来院との事。さて、帰宅してからの事がない。今まで思いつきりしていたゲーム、気が付いたらついてきたテレビ。何とも静か何か寂しい。おまけに外は雨。その時、「お母さん、する事ないから僕、勉強する」えっ? 何といっても勉強二の次、遊び第一。

たまにはいいかも、こんな生活。でも一番辛かったのはお父さん。

(三十代 主婦)

◆花火をした後はキッチンと後かたづけをしましょう。